



今後とも『京都・祇園祭ボランティア21』へのご理解・ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。
活動の詳細はホームページからもご覧になれます。

事務局連絡先

一般社団法人 茶道裏千家淡交会 総本部内

住所 〒602-0073 京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内竪町682番地

メール info@gionmatsuri.info

電話 075-451-5166(代)

HP <http://www.gionmatsuri.info/>

印刷・デザイン 中山徹デザイン事務所

京都・祇園祭 ボランティア21

祇園祭山鉦巡行ご奉仕に
関わらせていただいて



ご挨拶



『京都・祇園祭ボランティア21』は皆様方のお陰をもちまして、活動開始より40周年を迎えさせていただきました。昭和59年に山鉦8基250名で奉仕させていただいて以来、現在では19基の山鉦同様での曳き手・舁き手に加え、様々な後方支援も含め、のべ600名以上が奉仕させていただいております。この間、平成26年には後祭復興という歴史的局面に立ち会うことが出来ました。また、令和2年・3年は感染症流行による山鉦巡行が中止となる中での御旅所遙拝行列への奉仕、そして、再び令和4年から都大路で山鉦巡行に奉仕する機会をいただきました。これも40年間にわたるボランティアメンバーお一人お一人の真摯な活動、また祇園祭山鉦連合会様および山鉦町の皆様方、また協賛頂いている各種団体にも深いご理解とご信頼に支えられている賜物であります。当会に参画する団体の成り立ちや主旨は様々ですが、創設時の「京都の祭は京都に住む若者の手で!」を合い言葉に、「青少年の健全育成と社会参加」と「伝統・文化の継承と発展」を理念とし、高校生から社会人、外国人を含む若い力を結集して活動を続けてまいりました。祇園祭を通じて文化的な教養を深めることは、文化首都・京都で生きる社会人として、また参加した多くの青少年の成長の糧となり、職場や学業、地域などでも生かされていると自負しております。最後になりましたが、加盟団体の皆様には、曳き手・舁き手のみならず、感染症対策や熱中症対策等の新たな課題に対しても山鉦連合会様や各行政機関とも連携を取りつつ「安全・安心な祇園祭」実現の為、積極的に取り組んでいきたいと思っております。引き続き、こういった後方支援活動へのご協力へのお願いも合わせまして、これまでの活動本来の主旨を念頭に、今後とも謙虚さを失わず楽しく活動を続けていきたいと思います。

京都・祇園祭ボランティア21 会長 西川 知孝

御祝いの言葉

『京都・祇園祭ボランティア21』がこのたび創立40周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げますとともに、西川会長をはじめ、長年にわたって活動に御尽力いただきました歴代役員並びに会員、関係各位の皆様のためぬ熱意と御努力に深く敬意を表します。貴団体の皆様は、昭和58年に京都青少年活動推進会議として発足されて以来、「青少年の健全育成と社会参加」と「伝統・文化の継承と発展」を理念に掲げ、千年以上の歴史を持つ世界に誇る祇園祭の伝統と精神を受け継ぐ担い手として、数多くの青少年に活躍の機会を提供してこられました。京都府といたしましても、「文化の都・京都」の実現に向け、昨年3月に京都への移転が実現した文化庁との連携を深め、オール京都の力で、祇園祭をはじめとする京都の持つ素晴らしい文化を更に発展させ、未来へと継承してまいりたいと考えております。京都の夏を彩る風物詩として長く親しまれている祇園祭を支えてこられました皆様は、まさしく京都にとっての宝であります。ぜひ、今後ともより一層の御活躍をいただきますよう、心から御期待申し上げます。結びに当たり、『京都・祇園祭ボランティア21』の今後ますますの御発展を祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉といたします。



京都府知事 西脇 隆俊



千年を超えて受け継がれてきた祇園祭。世の中の安寧と人々の幸せを願う先人たちの想いは、人類共通の価値として、ユネスコ無形文化遺産にも認定されています。そんな京都が世界に誇る祇園祭の伝統を支えてこられた「京都・祇園祭ボランティア21」の皆様。この度の創立40周年の節目を、心からお祝い申し上げます。貴会の皆様は長年にわたり、京都を愛する人々の力を結集し、山鉦の曳き手や舁き手、裏方として大切な役割を果たしてこられました。「公を自ら担い、共助・互助でまちをつくる」という町衆の伝統と心意気を学び、実践しておられるお姿を誠に心強く存じています。さて、先般、第27代京都市長に就任させていただきました。この間、市内各所を巡る中で、市民の皆様お一人おひとりの想いと行動が、このまちを支えていることを改めて感じています。「古きをいつくしみ、新しき世を切り拓く」。その思いを胸に、先人たちから引き継がれてきた住民自治の伝統を大切に、「新しい公共」の担い手である皆様のお力もいただきながら、「突き抜ける魅力のある文化首都・京都」の実現に全力で取り組む決意です。変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げます。結びに、貴団体のますますの御発展を祈念いたします。

京都市長 松井 孝治

この度創立40年の佳節をお迎えになられましたこと、心よりお祝い申し上げます。創立35周年そして祇園祭千百五十年を皆様とお祝いして、賑々しく祇園祭を斎行した令和元年。その翌年から疫難に直面致し、山鉦は2年、花傘は3年間の巡行中止を余儀なくされるとは、誰も予想し得なかったことでしょう。千百有余年続く祇園祭は、外から見れば泰然とした巨木のように、何もしくなくとも自然とずっとそこにあるものと錯覚しがちであります。しかしその実は、沢山の人が手をかけて慈しみ育てた若木が年輪を刻むが如く、途方もない毎年の積み重ねの結果培われてきたものであり、人の心が離れればたちまち枯れてしまいます。コロナ禍による祇園祭諸行事の中止・縮小は、例年通り祭が行えることを有難くも当然に受け止めていた我々に、まざまざとその危機感を突きつけました。『京都・祇園祭ボランティア21』の皆様におかれましては、この危機にこれまでのご経験を遺憾なく発揮して、空白期間を経ての巡行にご奉仕いただきましたこと、大変心強く感じております。今後とも創立以来の理念を軸に、特にこれからを担う青少年と祭を繋ぎ、祇園祭をはじめとした伝統文化への理解を深めて京都の発展に寄与されると共に、貴団体の更なるご隆昌をご祈念申し上げ、お祝いのご挨拶と致します。

八坂神社 宮司 野村 明義



『京都・祇園祭ボランティア21』の創立40周年 心よりお祝い申し上げます。コロナ禍の状況の中いろいろな制約のもと、何かと苦勞の多かった3年間でした。そして、ボランティアの皆様には通年とは違った形でのご奉仕をしていただきました。4年ぶりの令和5年の山鉦行事は、通常の形で山鉦行事を催行することが出来て大勢の皆様喜んでいただき、うれしく思っております。今や、祇園祭の山鉦行事には、ボランティアの方々のご奉仕抜きにしては成り立たないほど重要な役割を担っていただいております。コロナ感染症は一段落しましたが、まだまだ種々の感染症が、そして近年の猛暑における熱中症などこれから取り組まなければならない諸問題の対応にもボランティアの皆様が協力が欠かせないのです。募集や、打ち合わせ会の企画と取り纏め、山鉦巡行における役割、指導等役員の方々のご努力に心から敬意を表し これからの活躍に期待しております。昨年、当祇園祭山鉦連合会も創設100周年を迎え、本年は101年の新しい段階に進みます。世界に誇る、この素晴らしい祇園祭山鉦行事の次の100年への継承にお力添えを願い、ご挨拶とさせていただきます。

公益財団法人祇園祭山鉦連合会 理事長 木村 幾次郎

京都・祇園祭ボランティア21の沿革

- 昭和57年 ● 「第13回日本都市青年会議京都大会」が開催され、様々な青少年活動団体の有志が集まり開催に協力しました。
- 昭和58年 ● 会議運営に協力した団体の一部が「京都青少年活動推進会議」を発足させ、京都の青少年団体の連携や相互理解・活動紹介などを行ってきました。
- 昭和59年 ● 伊住政和会長(故人)らが、京都の青少年による京都の伝統と文化継承を自分たちの活動の大きな柱にしようと、祇園祭山鉦巡行の曳き手ボランティアへの参加を申し出、山鉦連合会のご理解とご協力により、長刀鉦・芦刈山・油天神山・郭巨山・淨妙山・保昌山・孟宗山・役行者山の8基の曳き手・舁き手ボランティアと、湯茶接待に参加させていただいたのが始まりでした。
- 昭和63年 ● 四条傘鉦への奉仕を開始。
- 平成5年 ● 放下鉦、北観音山への奉仕を開始。
- 平成6年 ● 菊水鉦への奉仕を開始。
- 平成7年 ● 月鉦、木賊山、岩戸山、伯牙山への奉仕を開始。
- 平成8年 ● 発展的解消により「京都・祇園祭曳き手青年ボランティア委員会」を創り、より充実した活動に対応する組織として活動を継続しました。関わるボランティアも500名近くになりました。
- 平成12年 ● 霞天神山への奉仕を開始。
- 平成13年 ● 『京都・祇園祭ボランティア21』と名称を変更しました。 船鉦への奉仕を開始。
- 平成15年 ● 設立に尽力された初代会長伊住政和が死去。故人の意志を受け継ぎ、想いを新たに活動20周年を迎えました。八幡山、橋弁慶山への奉仕を開始。

- 平成19年 ● 白樂天山への奉仕を開始。
- 平成21年 ● 次世代を担う青少年の参加の一環として、堀川高校が当会に参画しました。
- 平成25年 ● 黒主山への奉仕を開始。
- 平成26年 ● 24日に後祭山鉦巡行が49年ぶりに復興し、前祭とあわせて2日間の奉仕が始まりました。
- 平成27年 ● 台風11号接近による豪雨の中でも、早朝より参集し、大事なく奉仕させていただきました。
- 平成30年 ● 記録的猛暑による高温注意情報が発出される中でも、肅々と巡行に奉仕しました。活動開始より35周年を迎えました。
- 平成31年 ● 5/1即位改元「令和」元年
- 令和1年 ● 6/29祇園祭創始1150年記念事業「祇園祭記念フェスタ」開催 会場整理支援に奉仕、京都経済センター 7/24鷹山が193年ぶりに唐櫃にて囃子方を伴って巡行 占出山への奉仕を開始
- 令和2年 ● 新型コロナウイルス流行、祇園祭山鉦巡行取りやめ、前祭、後祭 御旅所遙拝参拝行列御供奉仕
- 令和3年 ● 祇園祭山鉦居祭(鉦建て・山建て行われる)前祭、後祭 御旅所遙拝参拝行列御供奉仕
- 令和4年 ● 6月オリエンテーション中止、前祭、後祭巡行再開、後祭 鷹山復興、花傘巡行中止
- 令和5年 ● 6/25オリエンテーション復活、文化庁都倉長官供奉、花傘巡行復活
- 令和6年 ● 活動40周年を迎えました 19基の曳き手・舁き手としてご奉仕させていただくとともに、沿道支援や湯茶接待、花傘巡行などにも協力させていただいております。

設立に尽力された方々

伊住 政和 (茶道裏千家副部長)	安本 明世 (青年の船の会京都府支部長)
楠 勝好 (京都青友会会長)	関根 秀治 (茶道裏千家淡交会総本部青年部長)
木村 安輝 (京都青年会議所常任理事)	仲 祥介 (京都YMCA主事)
林 肇 (京都市青年団体協議会会長)	長橋 榮一 (車いす仲間会の会代表)
村山 忠彦 (京都モラロジー支部青年部監事)	野田 兼義 (青年海外協力隊京都OB会長)



京都・祇園祭ボランティア21をご支援いただき、ありがとうございます

当会の活動には、加盟団体のみならず、多くの方々のご協賛・ご協力をいただいて成り立っております。ここに、厚く御礼申し上げます。今後とも、なお一層のご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

毎年ご協賛をいただいております

京都ライオンズクラブ様 当会活動への助成をいただいております。
㈱京都銀行様 ボランティア参加者への記念品について、ご協賛をいただいております。
㈱SCREENホールディングス様 ボランティア参加者の募集ポスター印刷等について、ご協賛をいただいております。
積水ハウス(株)様 活動時のTシャツについて、御協賛をいただいております。

毎年ご協力をいただいております

(公財)京都YMCA 準備委員会の開催や、巡行前日～当日のボランティア本部について、設営会場を提供いただいております。
京都市洛南障害者授産所 活動に必要なパンフレット等の印刷について、お世話になっております。
京都市立開晴小学校・開晴中学校様 毎年600人規模で開催するオリエンテーション開催会場について、提供をいただいております。
京都市立下京中学校成徳学舎開放事業運営委員会様 巡行期間中の本部として、会場を提供をいただいております。
京都市 当会の活動について、後援いただいております。
(公財)京都府国際センター様 ウェッジ㈱様 ㈱光様 ㈱写真化学様 茶亭カエルノウタ様

表彰

- 内閣府 チャイルド・ユースサポート章 (子ども若者育成成功労者表彰)H22.11.24
「国の重要無形民族文化財である祇園祭山鉦巡行に曳き手ボランティアとして参加し、地域の伝統文化を担う人材育成や世代を超えた交流活動を行っている。」ことを評価いただきました。
- 京都新聞大賞 (教育社会賞)H25.11.28
- 感謝状(創設25周年・20周年) (京都府知事より感謝状) H20.11.15 H15.11.8 (京都市長より感謝状) H20.11.15 H15.11.8

京都・祇園祭ボランティア21の年間活動

活動内容

当会は、加盟団体の構成員の中から、当会の活動趣旨に賛同し会の発展に志ある者を役員(約30名)として選出し、運営しています。会を総括する会長のもと、円滑な山鉾巡行にご奉仕すべく、様々な約束事や準備事項について分担する委員会を設け活動しております。

曳き手青年ボランティア委員会

曳き手・舁き手を担う約400名以上のボランティアメンバーに対し、山鉾への割振や役割分担調整、注意事項の確認、山鉾連合会様、山鉾町内様との打ち合わせや、オリエンテーションの開催等を行っています。

情報ネットワーク委員会

山鉾巡行の円滑な運行に関して必要な補助、無線連絡、時間記録、辻廻し場での給水支援、湯茶提供などを行っています。巡行当日には、山鉾連合会担当理事の指示のもと、約200名以上のボランティアがお手伝いさせていただいております。

文化・情報委員会

参加ボランティアに対するパンフレット等資料作成、巡行写真記録作成管理、祇園祭に関する情報発信、ホームページ管理、活動記録、参加者に対する教養・啓発活動等を行っています。

事務局

当会に関する連絡・調整・渉外等の総務等を行っています。((一社)茶道裏千家淡交会総本部内に設置)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	12月														
理事会	理事会	総会	理事会	勉強会・説明会	参加者募集	委員会	担当割振・調整	委員会	合同打合せ会	オリエンテーション	八坂神社社参・御清	物品準備・仕分け	前祭準備・本部設	後祭準備・本部設	後祭山鉾巡行	後祭花傘巡行	物品整理・跡片付	反省会	意見交換会	記録整理	理事会	決算事務	理事会

加盟団体

(一社)ガールスカウト京都府連盟 (一社)京都経済同友会青年政策研究部会 京都サイクリング協会 (公社)京都青年会議所 京都府モロロジー協議会
近畿青年洋上大学京都府同窓会 車いす仲間会 (一社)茶道裏千家淡交会総本部青年部 茶道裏千家淡交会京都四青年部連合会 立正佼成会京都教会青年部
B'CLUB (公財)京都市ユースサービス協会 京都府理容生活衛生同業組合青年部 京都ものづくり塾 7.17友の会 京都市職員祇園祭曳き手ボランティア会
SCREEN祇園祭同好会 積水ハウス京都同好会 京都府庁フロンティア21 京祭會 (株)富士電工 (株)京都銀行 京都市立堀川高等学校 ボーイスカウト同好会
堀川高校祇園祭OB会 KYOTO International Team(K.I.T) MPM京都会 常若会 (株)島津製作所

準備

(1月～5月)

○ 理事会(1月・2月・3月)

総会開催に向け、昨年の活動を振り返り、改善点を踏まえ、今年度の活動計画、予算案を企画します。

○ 総会(2月下旬)

加盟団体責任者が参集し、昨年度の活動報告・決算、今年度の活動・予算案の審議が行われ、本格的に活動がスタートします。

○ 勉強会・説明会(4月上旬)

加盟団体の責任者・リーダー等が参集し、勉強会を行います。例年、山鉾連合会・八坂神社等から講師をお迎えし、祇園祭や山鉾に関するご講演をいただき、教養を深める努力をしています。説明会では、ボランティアの募集等に向け、活動の細部を確認します。(例年、京都モロロジー会館等をお借りして開催)

○ 曳き手委員会(5月・6月)

団体責任者が参集し、参加人数や担当山鉾や支援部門の割振を調整・決定します。その後、リーダー・サブリーダーが参集し名簿作成を行い、参加者に対し、奉仕内容・オリエンテーション案内を発送します。

○ 曳き手ボランティア参加者募集(5月)

加盟団体では、4月の説明会後、参加者を募ります。団体以外の参加の公募も行われ、応募者多数の場合は選考を行います。

山鉾巡行に向けて(6月中旬～下旬)

合同打合せ

5月中にボランティアの体制を確認した後、6月中旬からいよいよ活動が本格化します。

山鉾連合会様、ボランティア参加にご協力いただく山鉾町のボランティア担当者の皆様にご参加いただき、当会の本年度担当ボランティアリーダーおよびサブリーダーが、奉仕内容の説明を受け、山鉾の役割確認・人数・衣装等の細部の確認を行います。担当する山鉾は、毎年入れ替りますので、リーダー・サブリーダーは真剣に打合せを行います。(例年、京都市立下京中学校成徳学舎をお借りして開催)

○ 情報ネットワーク委員会(6月下旬)

山鉾連合会様より依頼を受けた内容の確認・手配等を行います。湯茶担当(前祭では主に堀川高校の女子生徒が担当)や、辻廻し場での給水、理事付連絡員等の連絡体制の確認などを行います。

(例年、京都市立下京中学校成徳学舎をお借りして開催)

オリエンテーション・八坂神社社参・御祓(6月下旬日曜日)

オリエンテーション

6月下旬日曜日、山鉾巡行に参加するすべてのボランティア総勢600名以上が、山鉾連合会様、ご奉仕参加にご協力いただく山鉾町の担当者様から、今年のご奉仕内容の説明を受けます。

この時、中心となるのが、前週の打合せで奉仕内容を確認したリーダー、サブリーダーです。

総勢600名以上のボランティアと、山鉾連合会様、山鉾町ボランティア担当者様が一堂に会し、八坂神社宮司様、山鉾連合会理事長様のご臨席を賜り、開催します。山鉾連合会様からの注意事項と、当会からの心構えや注意事項の説明の後、担当山鉾及び山鉾連合会役割別に分かれ、それぞれ、巡行にかかる内容(集合時間、衣装、役割分担、巡行時の注意事項等)の説明等を受けます。

大規模な会場が必要なため、これまで弥栄中学校様・華頂学園様・東山開晴館小中学校様などのご協力で開催しております。

八坂神社社参・御祓

オリエンテーション終了後、全員で八坂神社に正式参拝を行います。昇殿して御祓いを受ける時より、八坂神社の氏子として気分を引き締め、山鉾巡行を迎えます。

山鉾巡行の裏方として

■ 青少年の参加促進

当会の活動目的、次世代を担う青少年の山鉾巡行ボランティアへの積極的参加を奨めています。平成21年からは、堀川高校より総勢100名近くの生徒が舁き手・曳き手・湯茶接待に奉仕し、貴重な経験をさせていただいております。卒業生の中には、引き続きOB会として活動に当たり、若手メンバーの中心的存在としても活躍しています。また、職域団体でも積極的に新入社員などが参加し、それぞれの担当でリーダー等もつとめます。

■ 国際交流

外国人や留学生等も曳き手ボランティアとして参加しています。祇園祭への外国人青年の参加体験を通じ、京都・日本の文化発信にも力を入れており、英語での資料作成や説明にも力を入れています。

■ 花傘巡行

平成27年より、後祭の花傘巡行へご奉仕させていただいております。

■ 安全対策

巡行開始後は、山鉾巡行位置等を逐時確認し、山鉾連合会役員様へ伝えと共に不測の事態に備えます。巡行列には無線連絡員が無線機を携帯して帯同しており、巡行状況を関係者へ伝えます。また、要所にも無線連絡員が無線機を携帯して待機しており、各山鉾の通過時刻を連絡・記録しています。

熱中症等による巡行参加者の不測の事態に備えるため、リーダーには塩飴を携帯させ、所定場所には補給水も用意しています。また、参加ボランティアには、傷害保険を契約しています。

平成29年度より、下京、中京消防署のご協力により、役員・リーダー・サブリーダー向けに普通救命講習を行っております。

■ 巡行支援

山鉾に奉仕する曳き手・舁き手男子約450名に加え、山鉾連合会の依頼により、裏方としても200名以上が様々な巡行支援の役割へ奉仕しております。いずれも山鉾巡行にはなくてはならない存在であり、曳き手を経験したベテランメンバーを中心に、奉仕させていただいております。

連合会旗持ち	「祇園會」の旗を掲げ、連合会役員と共に巡行列先陣をつとめます。
辻廻し水担当係	四条新町、御池新町において、山鉾の辻廻しの際に必要な水の給水をつとめます。
理事付連絡係	無線および携帯電話を携帯して山鉾連合会理事に帯同し、伝令をつとめます。
籤改め場係(後祭)	籤改め場(御池市役所前)の手伝い方をつとめます。
注連縄切場整理(前祭)	長刀鉾による注連縄切りの際、整理をつとめます。
無線連絡係	無線機を携帯して巡行列に帯同し、また、辻廻し場に固定配置し、巡行状況の連絡を行うとともに、時間記録します。
新町御池本部(前祭)	無線連絡網より巡行情報を整理し、ボードに掲示して情報提供を行います。
補助・救護隊	巡行列に帯同し、熱中症対策として巡行関係者への塩飴等の配布を行います。緊急時には医療機関への同行を行います。

■ 湯茶提供

前祭では堀川高校生徒約50名を含む約100名が湯茶接待に当たります。新町御池に湯茶接待所を開設して運営するとともに、三条河原町・四条河原町でも提供を行います。

後祭でも約20名が三条河原町で湯茶提供を行います。



各山鉾別の打合せ



全体説明会



堀川高校生徒の曳き手



外国人団体による奉仕



花傘巡行への奉仕



成徳学舎本部での情報集約



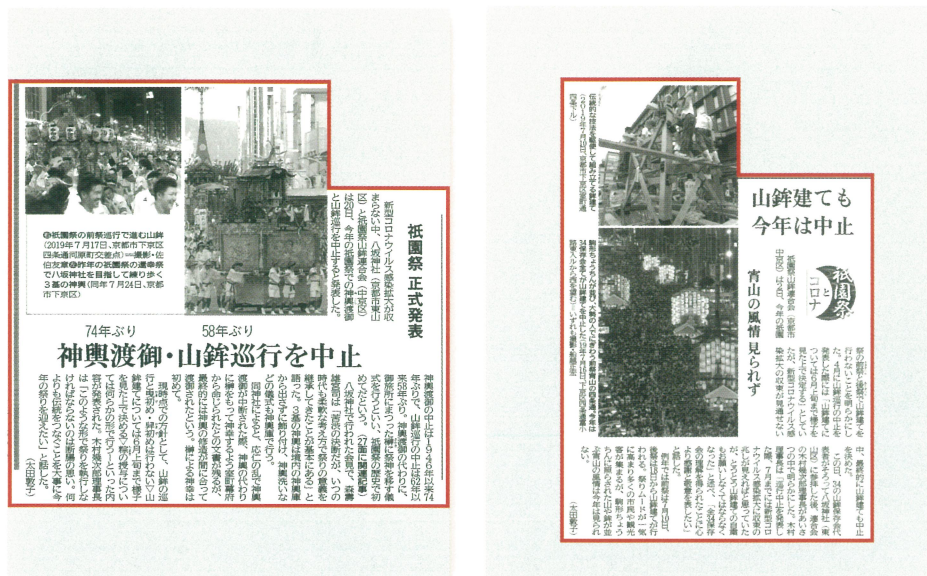
巡行支援要員



巡行参加者への湯茶提供

2020

新型コロナウイルス流行、祇園祭山鉾巡行取りやめ、
前祭、後祭共に御旅所遙拝参拝行列御供奉仕



2021

祇園祭山鉾居祭 (鉾建て・山建て行われる)
前祭、後祭共に御旅所遙拝参拝行列御供奉 奉仕



2022

6月オリエンテーション中止、前祭、後祭巡行再開
鷹山復興、花傘巡行中止

